

あおばボラセンだより

2024年
4月号

「あおばボラセンだより」は、青葉区社会福祉協議会あおばボランティアセンターが実施している事業やイベントのお知らせ、報告等、青葉区内の地域福祉に関する情報を提供しています。

【福祉教育について】

学校や地域の子どもたち、地域住民や企業等を対象として、自分たちのまちに暮らすさまざまな人の生活や、それを支える地域の人々、仕組みなどを知り、地域や福祉への関心が高まるように福祉の啓発活動を行っています。



《福祉教育実施後のご感想》

- ・聴覚障害者の講話は分かりやすく、楽しみながら学ぶことが出来ました。
- ・子どもたちが障害がある方と触れ合うことを通して、視野が広がったように感じました。この学習の経験を活かしていきたいと思います。
- ・困っている方を見かけたら、これからは恥ずかしながらも勇気を出して声をかけようと思いました。

【ボランティア保険の受付について】

ボランティア活動・市民活動中の事故に備えるためのボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償の申し込み受付を行っています。

内容	支払方法	備考
ボランティア活動保険	窓口にて現金支払いのみ ※お釣りのご用意はありません	※継続して契約を希望される場合は、3月中の加入が必要です。
ボランティア行事用保険 福祉サービス総合補償	ゆうちょ銀行でお振込み	

【お問合せ先】

社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会
あおばボランティアセンター
〒225-0024 青葉区市ケ尾町1169-22
青葉区福祉保健活動拠点「ふれあい青葉」

受付時間:月～土曜日9時～17時(祝日除く)
TEL :045-972-7018
FAX :045-972-7519
E-mail:vc-aoba@yokohamashakyo.jp

〈第2回〉ボランティアグループ紹介

やすらぎ広場を支える会

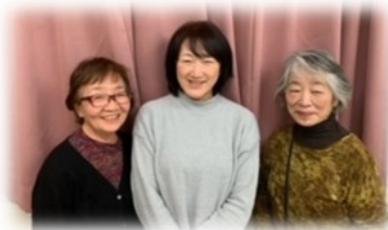
心の病を抱えた方向けにサロン活動をしています。元気なときも落ち込んでいるときも、そのまま、ありのままの自分でいられる安心の場を提供しています。

Q.「やすらぎ広場」の歴史と特色を教えてください。

平成8年に「やすらぎ広場を支える会」が発足。平成9年4月に「やすらぎ広場」がスタートしました。“自己肯定感”“自己信頼感”をモットーに、こちらの価値観をおしつけることなく、友人と過ごしているようなやすらぎの場を提供することを徹底しています。

Q.「やすらぎ広場」でのボランティアの魅力はなんですか？

スタッフ同士の仲が良く、コロナ禍明けで再会したときは「話せるって楽しいね♪」と喜び合ったりもしました。利用者さんと一緒にやすらぎ過ごしているので、逆に元気をもらっています。



Q.今までで印象的な出来事がありましたか？

左からスタッフの大石さん、田中さん、代表の三田さん

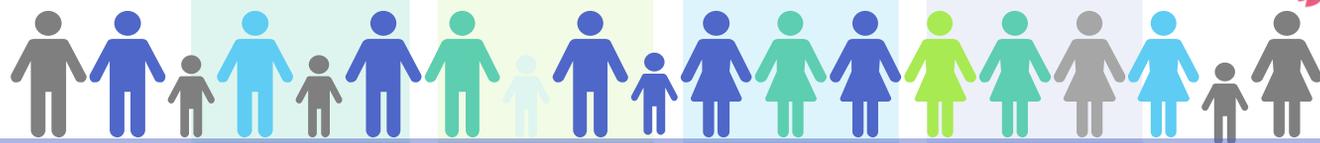
「この場所の存在があるだけで安心する」「この場所をなくさないで欲しい」と言われたことがうれしかったです。また自分に自信が持てなかった方が少しずつ自分を認め、受けとめ、仲間と打ち解け、話の輪に入るようになる様子に安堵感や喜びの思いを抱きました。少しずつ自分を受け入れ、前向きに変化し、自分から話しかけてくれるようになったのもうれしかったです。

《利用者さんの声》(写真は本人の許可を得ています)

- ・居場所になっているので、毎週楽しみにしています。
- ・個別で相談にも乗ってくれるので ありがたいです。
- ・嫌なことやつらいことを発散させてくれる場所です。
- ・温かくて人との共生を感じる場所です。
- ・ゲームをしたり、誕生日会やクリスマス会などのイベント、ときどき散策に出かけたりと楽しいです。



活動の様子



【活動日時】

毎週土曜日(年末年始、祝日は除く)

スタッフ:12時~16時、参加者:12時30分~16時

【場所】

「ふれあい青葉」2階 団体交流室1

スタッフを募集しています!

月1回スタッフの定例会で、翌月の当番を決めています。

ご興味のある方は、あおばボランティアセンターまでご連絡をお願いいたします。